

Case : 99

リクライニングさせたとき、利用者の身体が前方へすべり落ちそうになる

場面の説明

洗体中、泡のついたすべりやすい状態でリクライニングをしたところ、利用者が前方にすべり出した



利用シーン	 入浴
主な利用場所	 浴室・脱衣所
介護保険の種目	 入浴補助用具
分類コード (CCTA95)	093303 (入浴用チェア)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

入浴などすべりやすい環境の下では、リクライニングで寝かせるときだけではなく、起こしていくときにも体が前方にすべりやすくなります。それを防止するためには、座面のティルト機能を有効に使うと効果的ですが、股関節の曲がりにくい利用者ではうまく機能しないケースもあり、ベルトなどを併用することもあります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：洗体中にリクライニングさせた
- モノ：ティルト機能のないシャワーチェアだった
- 環境：全身に石けんがついてすべりやすかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 99

リクライニングさせたとき、利用者の身体が前方へすべり落ちそうになる

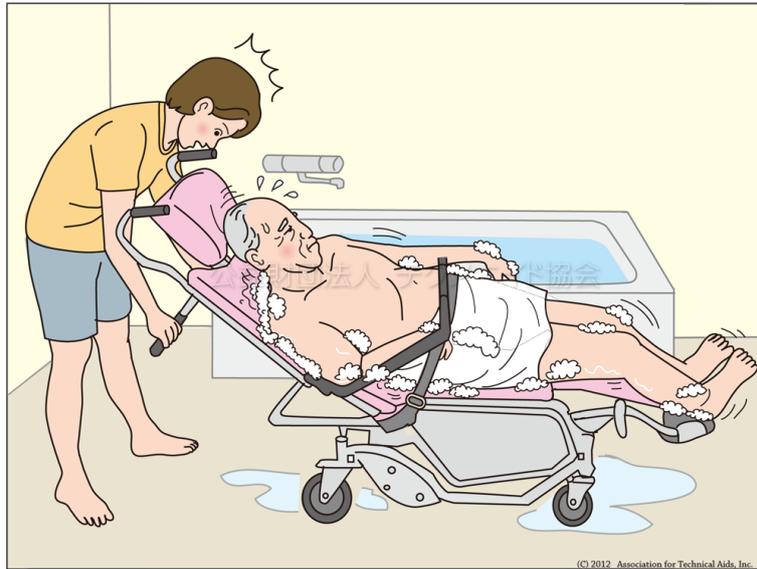
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

洗体中、泡のついたすべりやすい状態でリクライニングをしたところ、利用者が前方にすべり出した



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ